

第4回北栄町男女共同参画審議会 報告

日 時	令和4年3月29日（火）19:00～20:20
場 所	北栄町大栄農村環境改善センター 会議室3 ※会場とオンライン（Zoom）の併用開催
出席者	杉上潤子会長、大西孝弘副会長、石原聖治委員、権田正直委員、竹原光余委員、永見直樹委員、濱本武代委員、福井暖委員 （会場参加3名+オンライン参加5名、欠席2名） （事務局）企画財政課長 小澤、企画財政課政策企画室長 藤友

【日程・結果】

- 1 開 会
- 2 あいさつ
- 3 議 事
 - （1）第4次男女共同参画基本計画パブリックコメントの実施結果等について
 - ①パブリックコメントの実施結果について…承認
 - ②第4次男女共同参画基本計画最終案について…承認
 - ③町長への提出について…承認
 - （2）第3次北栄町男女共同参画基本計画に基づく施策の取組状況について
- 4 その他
- 5 閉 会

【意見】

- （1）第4次男女共同参画基本計画パブリックコメントの実施結果等について
 - ①パブリックコメントの実施結果について
 - ②第4次男女共同参画基本計画最終案について
 - ③町長への提出について
 - ・（委員）意見なし→承認

- （2）第3次北栄町男女共同参画基本計画に基づく施策の取組状況について
 - ・全体的によく取り組みが進められている。
 - ・1～2頁の、子どもの発達段階における教育の推進の取り組みはとても大切なこと。よりん彩でも学校への講師派遣事業を行っているので、活用いただきたい。
 - ・4頁の「男女共同参画推進会議と自治会役員さんとの意見交換会」は10年以上も続いていて、素晴らしい取り組みである。成果があらわれにくいとのことだが、自治会規約を変えて、一定数の女性役員が選ばれるようにする、いわゆるクォータ制（人種や性別などを基準に一定の比率で人数を割り当てる制度）を取り入れている自治会もあるとのことだった。兵庫県の小野市や栃木県的那珂川市では、全国的にはめずらしい例だが、女性役員を選出したところに補助金を出している。クォータ制により役員を経験することによって、会長や副会長につながっていくので、非常に大事なことだと思う。
 - ・企業等で頑張っている取り組み事例を町報等で紹介してはどうか。企業アンケートの結果では、5年前に比べて企業の男女共同参画の取り組みが進んでいた。農業委員会の啓発で家族経営協定の取り組みも進んでいる。PRすることで企業への就職などにもつながってくるのではないかと。
 - ・8頁に障がい者地域自立支援協議会や職員の防災研修会（避難所運営ゲーム）が紹介されているが、自治会の取り組みが掲載されていない。
→（事務局）毎年、町と自治会との防災訓練を行っているが、今年度は新型コロナウイルス

感染拡大の影響により、中止になってしまった。

→ (委員) 自治会役員をしており、町との連携をすることになっているが、何をしてよいか分からない。(避難所運営ゲームのような) 防災研修が、自治会でもできれば、もう一歩進めるのではないかと。もう少しすそ野を広げて、自治会でも行ってほしい。

- 支え愛マップの取り組みが紹介されているが、どうしても個人情報との関係があつて難しく感じる。特に、自治会に加入していない人があつて、難しく感じる。
- 男女共同参画の取り組みは年数がたつても遅々として進まない。でも、同じことでも言い続けると変わらない。
- 自治会役員における男女共同参画については、積極的に取り組む自治会との格差が出てきているのではないかと。町の広報誌等を通じて、自治会役員に女性を登用したら、こういう良いことがあつたというような事例紹介をしていただければ、地域での男女共同参画が進む一助になるのではないかと。思うので、お願いしたい。
- 2頁の男女共同参画フォーラムの男性参加率という数値目標について、平成28年度の現状値が7.1%で、目標値は15%以上。50%まではいかななくても、もう少し目標値を上げて頑張ってもらいたい。
 - (事務局) 第4次計画案では、20%以上を目標にしています。女性団体連絡協議会が主催しているので、一緒に取り組みを進めます。
 - (委員) この審議会にも男性の委員がいるので、これを機に、ぜひ周りの男性の方を誘って参加率がアップするように協力してほしい。
 - (委員) 女性団体連絡協議会から自治会長に参加依頼文書を送ったりして取り組んでいる。
 - (委員) 男性が多く参加する団体に依頼すれば、増やすことができるのではないかと。
 - (委員) どんな団体があるのか、よく知らないのと、これまでは声を掛けられていないが、他の団体にも声を掛けていくことが必要かもしれない。
- 自分は男性が多い職場に勤めている。こういう会議には参加しづらく、仕事を休む際は、自分の中で優先順位をつけている。まずは子どもの学校やこども園のことを優先するので、地域ごとへの参加は妻に任せることが多くなってしまう。
- 自分の会社は男性が多いため、男性目線で考えがちだが、女性ミーティングという女性だけが集まって企画をする会議がある。男性だけでは思いつかないような発想があつたりする。それぞれの意見を聞いていくことは大事だと思う。
- 会議等に参加する男女比がせめて6:4くらいになると、女性が1人、2人では言えない意見も言えるようになると思う。
- 小学校PTAの役員の男女比は年度によって変わるが、男女の参加割合に応じて活動が活発になったり、そうでなくなったりするように感じるため、心がけていきたいと思う。来年度はおそらく男女半々くらいだったと思う。
- 中学校PTAはここ何年か女性会長が続いており、活発である。女性目線は必要。